

正しい臨床決断をするための

エビデンス・ベースト・インプラントロジー

EVIDENCE-BASED IMPLANTOLOGY for effective clinical decisions

小田師巳／園山 亘 著

エビデンスを知り、
臨床を知れば、
インプラント治療も
百戦あやうからず



確かな術式・材料を用いた臨床例と信頼度の高いエビデンスで、インプラント治療の「正しい臨床決断」が身に付く1冊。文献のエッセンスのみを取り出して表に示すことで有意差のある術式や材料が視覚的に理解できるように工夫されており、どのようなケースに、どのような手技で、どのような材料を用いれば、どのような結果が「平均的に」得られるかの確度が高まり、あなたのインプラント臨床のレベルを確実に上げられます。



成功する インプラント治療の 秘訣がここに！



小田 師巳

Norimi Oda

2001年 岡山大学歯学部卒業
2006年～ 医療法人おだデンタルクリニック理事長
2018年～ 岡山大学病院診療講師
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野
iCEED (Institute for Clinical Expertise and Evidence in Dentistry) 主宰



園山 亘

Wataru Sonoyama

1996年 岡山大学歯学部卒業
2004年 米国立衛生研究所留学
2018年～ 浅田歯科医院院長
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野
iCEED (Institute for Clinical Expertise and Evidence in Dentistry)



1章

下顎臼歯部に対するインプラント治療

- 1 インプラントの長径
- 2 ティッシュレベル (TL) とボーンレベル (BL) の使い分け
- 3 第一大臼歯までの短縮歯列の選択理由
- 4 1 歯中間欠損におけるブリッジorインプラントの選択基準
- 5 インプラント周囲の角化組織の必要性
- 6 セメント固定式VSスクリュー固定式
- 7 ジルコニアアバットメントにおけるインプラント接合部の材料
- 8 シングルクラウンVSカンチレバーブリッジ
- 9 レギュラーインプラントVSナローインプラント
- 10 まとめ

2章

上顎洞底挙上術をとまなう インプラント治療

- 1 上顎洞底挙上術をした部位におけるインプラントの生存率
- 2 上顎洞底挙上術と同時にインプラント埋入ができる既存骨高径
- 3 骨補填材の選択
- 4 上顎洞粘膜穿孔への対応とその予後
- 5 サイナスリフト後の待機期間
- 6 インプラント長径の選択
- 7 歯冠・インプラント比について
- 8 ソケットリフトの選択基準
- 9 ソケットリフトでの洞粘膜の挙上限界
- 10 長径 6 mm のショートインプラントを用いたソケットリフト
- 11 耳鼻咽喉科医との連携
- 12 まとめ

3章

インプラント-アバットメントの接合様式

- 1 バットジョイント
- 2 ティッシュレベル (TL)
- 3 プラットフォームスイッチング (PS)
- 4 まとめ

4章

審美領域におけるインプラント治療

- 1 審美性に関する術前評価
- 2 乳頭組織を形成するための条件
- 3 インプラント埋入時期の分類
- 4 抜歯後に生じる歯槽骨の吸収
- 5 Type 2 に埋入することが推奨されている理由
- 6 適切な三次元的埋入位置
- 7 GBR に用いる骨補填材とメンブレン
- 8 インプラント埋入手術における 1 回法と 2 回法の選択
- 9 二次手術までの治療期間
- 10 二次手術で選択する術式

- 11 SCTG による軟組織増生の効果
- 12 SCTG を行うタイミング
- 13 インプラント埋入 (GBR) と同時に SCTG を行った部位の治療様相
- 14 軟組織増生術における SCTG の代替材料
- 15 プロビジョナルレストレーションの装着期間
- 16 隣在歯への補綴介入
- 17 上部構造の固定様式
- 18 術後の補綴的合併症
- 19 頭蓋顔面の晩期成長にともなうインプラントの低位現象
- 20 Type 1 の適用条件
- 21 Type 3 あるいは Type 4 を選択する状況とは？
- 22 まとめ

5章

段階法GBRが必要なインプラント治療

- 1 骨欠損形態の分類とそれぞれに対応するGBRテクニック
- 2 ブロック骨移植
- 3 ソーセージテクニック
- 4 非吸収性メンブレンを用いた段階法GBR
- 5 まとめ

6章

抜歯後の歯槽堤の吸収を抑制する リッジプリザーベーション

- 1 リッジプリザーベーションの重要性
- 2 抜歯後の歯槽堤の硬・軟組織別形態変化
- 3 抜歯窩のフラップによる初期閉鎖の必要性
- 4 使用する材料や術式の違いが結果に及ぼす影響
- 5 術式を決定するためのディシジョンツリー
- 6 非吸収性d-PTFEメンブレンを用いたリッジプリザーベーション
- 7 Tiハニカムメンブレンのリッジプリザーベーションへの応用
- 8 まとめ

7章

硬組織の合併症とそのリカバリー

- 1 硬組織手術に関連した合併症
- 2 まとめ

8章

軟組織の合併症とそのリカバリー

- 1 軟組織手術に関連した合併症
- 2 まとめ

きりとり線

注文書

正しい臨床決断をするための エビデンス・ベースト・インプラントロジー

モリタ商品コード:208040725

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。